

## 土浦市バイオマスタウン構想について

土浦市では、地球温暖化防止や循環型社会形成の促進などを図るため、平成21年度に土浦市バイオマスタウン構想を策定しました。

### バイオマスとは？

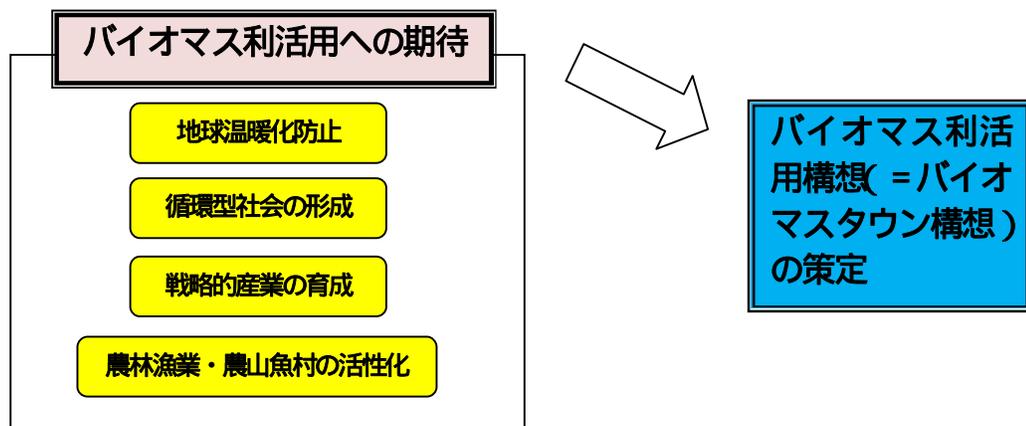
バイオマスとは、「再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」のことです。例えば、家庭から排出される生ごみや、し尿、浄化槽汚泥などがこれにあたります。

大量生産大量消費型社会から、限られた資源を有効利用する「循環型社会」の形成を図っている今日、バイオマスの利活用が重要なキーワードとなっています。

### バイオマスの利活用により期待される効果

今日、バイオマスの利活用により主に以下の4つの効果が期待されています。

- 地球温暖化防止（ 1 ）
- 循環型社会の形成（ 2 ）
- 戦略的産業の育成（ 3 ）
- 農林漁業・農山漁村の活性化（ 4 ）



平成22年2月末現在、全国238市町村がバイオマスタウン構想を公表

- 1 バイオマスを燃焼すること等により放出されるCO<sub>2</sub>は、生物の成長過程で光合成により大気中から吸収したCO<sub>2</sub>であることから、バイオマスは私たちのライフサイクルの中では大気中のCO<sub>2</sub>を増加させないという「カーボンニュートラル」と呼ばれる特性を有しています。このため、化石資源由来のエネルギーや製品をバイオマスで代替することにより、地球温暖化を引き起こす温室効果ガスのひとつであるCO<sub>2</sub>の排出削減に大きく貢献することができます。（京都議定書によるCO<sub>2</sub>排出削減義務）
- 2 これまでの、化石資源などの有限な資源から商品を大量に生産し、これを大量に消費・廃棄する一方通行型社会システムを改め、廃棄物の発生を抑制し、限りある資源を有効活用する循環型社会に移行していくことが求められています。循環型社会形成推進基本法に掲げられたこれらの理念を具現化するにあたり、持続的に再生可能な資源であるバイオマ

スの利活用の重要性が高まっているのです。

- 3 バイオマスをエネルギーや製品に利活用することにより、新たな技術・製品の開発、先駆的なビジネスモデルの創出等が可能となり、全く新しい環境調和型産業とそれに伴う新たな雇用の創出が期待されています。
- 4 わが国は温暖・多雨な気候条件のため、バイオマスが豊富であり、その多くは農山漁村に存在しています。バイオマスの利活用は、農山漁村にこれまでの食料等の供給の役割に加えて、エネルギーや工業製品の供給の可能性を与えるばかりでなく、都市と農山漁村の共生と対流を促進することにより、新たな発展の可能性が期待されています。

### バイオマスタウン構想とは？

バイオマスタウン構想とは、市町村が策定するバイオマス利活用構想のことです。平成14年の「バイオマス・ニッポン総合戦略」閣議決定以降、全国の多くの市町村がバイオマスタウン構想の策定に取り組み、平成22年2月末現在、全国でバイオマスタウン構想を公表した市町村は238市町村にのぼります。

### 土浦市バイオマスタウン構想の策定過程

土浦市では、平成21年度にバイオマスタウン構想を策定するため、土浦市バイオマスタウン構想策定委員会を開催しました。この委員会は、15名（学識経験者4名、市民の代表（公募）2名、関係事業者3名、関係機関及び団体の役職員5名、市議会議員1名）により構成され、年間5回の策定委員会の開催により、構想の策定に取り組みました。

また、市民の皆さんのご意見などをより幅広く集め、構想に反映させるため、ワークショップの開催やパブリックコメントの実施もいたしました。

### 土浦市バイオマスタウン構想策定過程（平成21年度）

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		策定委 (8/18)		策定委 (10/9)	策定委 (11/18)	策定委 (12/24)	パブリックコメント (1/20~2/10)		農水省へ 構想書提 出 (3/3)
					ワークシ ョップ (11/27)			策定委 (2/25)	



### 「土浦市バイオマスタウン構想」公表（平成22年4月30日）

- ・農林水産省ホームページ
- ・土浦市役所ホームページ（各課ホームページ環境保全課内）